



コール ピックアップ グループの使用 方法

コール ピックアップ グループを使用すると、該当するピックアップ グループ番号をダイヤルしたときに、自分のグループ内またはその他のグループ内の着信コールを受けることができます。

この章は、次の項で構成されています。

- [BAT の重要な考慮事項 \(P.53-2\)](#)
- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.53-3\)](#)
- [テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成 \(P.53-4\)](#)
- [既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集 \(P.53-4\)](#)
- [コール ピックアップ グループ CSV ファイルの設定値 \(P.53-5\)](#)
- [BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新 \(P.53-6\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する場合の BAT の設定 \(P.53-7\)](#)

BAT の重要な考慮事項

BAT を使用してコール ピックアップ グループを設定する前に、次の情報を確認します。

- コール ピックアップ グループの設定を初めて追加する場合は、BAT.xlt を使用して CSV ファイルを作成するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- コール ピックアップ グループの設定を更新するには、既存の CSV ファイルを編集するか、テキストベースのカスタム CSV ファイルを作成します。
- 各ピックアップ グループ名（およびそれに対応する設定値）を 1 行に指定します。たとえば、ピックアップ グループの情報を入力する場合は、次の形式になります。
 - (Pickup Group Name, Pickup Group Number, Partition, Other Pickup Group Name-Member1...Other Pickup Group Name-Member10)
 - Marketing,7815,Part1,Marketing,Managers,Training
- 新規ピックアップ グループを追加する場合は、ピックアップ グループ名、ピックアップ グループ番号など、必要なすべてのフィールドに入力する必要があります。手順で特定のエントリが必須として指定されている場合は、ファイルにその情報を指定する必要があります。
- ファイルから情報を削除してブランクにしても、その情報は Cisco Unified Communications Manager データベースから削除されません。つまり、ブランクの値ではデータベース内の既存の値は上書きされません。データベース内の既存の値は、値を更新すると上書きされます。
- 該当する CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager クラスタの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。
- CSV ファイルを作成または変更する際には、P.53-6 の「BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新」で説明されているように、必ずその CSV ファイルを BAT に挿入する必要があります。

その他の情報

詳細については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成

BAT.xlt を使用してコール ピックアップ グループ用の CSV ファイルを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** BAT.xlt ファイルは Cisco Unified Communications Manager サーバ上にありますが、通常、Cisco Unified Communications Manager サーバには Microsoft Excel がインストールされていません。その場合は、Cisco Unified Communications Manager サーバからこのファイルをコピーして、Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンに移動する必要があります。
- ステップ 2** [一括管理] > [ファイルのアップロード/ダウンロード] の順に選択します。[ファイルの検索と一覧表示 (Find and List Files)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [検索] をクリックして、BAT.xlt ファイルをダウンロードします。ファイルのアップロードまたはダウンロードの詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。
- ステップ 4** BAT.xlt を Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンにコピーします。
- ステップ 5** Microsoft Excel で BAT.xlt を開きます。
- ステップ 6** [Call Pickup Group] タブをクリックします。
- ステップ 7** 表 53-1 に従って、各カラムにコール ピックアップ グループの設定値を入力します。
- ステップ 8** ステップ 7 を繰り返し、すべてのピックアップ グループを入力します。
- ステップ 9** Excel スプレッドシート形式を CSV ファイルに変換するために、[Export to BAT Format] をクリックします。

CSV ファイルが自動的にローカルマシンの C:\XlsDatafiles に保存されます。CSV ファイルの保存場所として別のロケーションを選択する場合は、[Browse] をクリックして希望のロケーションを選択します。
- ステップ 10** CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager クラスタの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。
- ステップ 11** CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、P.53-6 の「BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新」を参照してください。

その他の情報

詳細については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成

値がカンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。コール ピックアップ グループ用のテキストベース CSV ファイルの詳細については、P.A-24 の「コール ピックアップ グループ用のテキストベース CSV ファイルの作成」を参照してください。

その他の情報

詳細については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集

既存のコードを更新する場合は、Notepad で既存の CSV ファイルを手動で更新するか、または Notepad で新規のファイルを作成します。

次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 以前にコール ピックアップ グループ情報を挿入した既存の CSV ファイルを編集するには、Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードから、該当する CSV ファイルをダウンロードします。詳細については、P.2-3 の「ファイルのダウンロード」を参照してください。

ステップ 2 Notepad で既存の CSV ファイルを開いて編集します。表 53-1 のテキストベースの表現を使用して、既存の設定の削除、新規コール ピックアップ グループの追加、または既存の設定の更新を行います。

たとえば、コール ピックアップ グループの CSV ファイルを更新するには、Marketing,,Marketing,Managers,Training と入力します。ここで、Marketing は必須のピックアップ グループ名です。Marketing、Managers、および Training はピックアップ グループ Marketing に関連するその他のピックアップ グループ名です。



注意

既存のレコードのどの部分でも変更できますが、ピックアップ グループ名を含める必要があります。ピックアップ グループを更新すると、既存の他のピックアップ グループとの関連付けが解除されます。[Other Pickup Group] フィールドは、空白にしないでください。ピックアップ グループに関連付ける他のすべてのピックアップ グループを続けて入力します。

ステップ 3 CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager クラスターの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

ステップ 4 CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、P.53-6 の「BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新」を参照してください。

その他の情報

詳細については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

コール ピックアップ グループ CSV ファイルの設定値

次の各項と表 53-1 を併せて参照してください。

- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.53-3)
- テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成 (P.53-4)
- 既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集 (P.53-4)
- コール ピックアップ グループの削除 (P.54-1)

関連する手順については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

表 53-1 コール ピックアップ グループの設定値

設定 / カラム	説明
For CPG CSV file (CPG 用 CSV ファイル)	
Pickup Group Name	この必須フィールドには、50 文字以内のコール ピックアップ グループ名を入力します。
Pickup Group Number	この必須フィールドには、ユーザが着信コールを受ける際に入力する、24 桁以内のピックアップ グループ番号を入力します。
Partition	電話番号 (ピックアップ グループ番号) が属するルート パーティションを選択します。  (注) 電話番号 (ピックアップ グループ番号) は複数のパーティションに現れる可能性があります。  (注) [Pickup Group Number] と [Partition] の組み合わせは固有である必要があります。 このフィールドはオプションです。
Other Pickup Group Name(x)	新規ピックアップ グループに関連付けるその他のピックアップ グループの名前を入力します。このオプションフィールドでは、各ピックアップ グループをその他の最大 10 のピックアップ グループと関連付けることができます。

BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新

Cisco Unified Communications Manager データベースを更新するには、BAT にコール ピックアップ グループ用の CSV ファイルを挿入する必要があります。データベースを更新するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified Communications Manager を更新する前に、コール ピックアップ グループ用の CSV ファイルを作成または編集し、Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードする必要があります。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

詳細については、次の項を参照してください。

- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.53-3\)](#)
- [テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成 \(P.53-4\)](#)
- [既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集 \(P.53-4\)](#)
- [コール ピックアップ グループ CSV ファイルの設定値 \(P.53-5\)](#)

手順

ステップ 1 BAT で、[一括管理] > [コールピックアップグループ] > [コールピックアップグループの挿入] の順に選択します。

[ピックアップグループの挿入 (Insert Pickup Groups Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、更新されたピックアップグループが含まれる CSV ファイルを選択します。



ヒント 挿入するファイルの内容を表示するには、[ファイルの表示] をクリックします。

ステップ 3 既存のピックアップグループのリストを更新した場合は、[表 53-2](#) で説明されているように、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 5 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてピックアップグループを即座に挿入するか、[後で実行] をクリックして後で挿入します。

ステップ 6 [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログファイルの詳細については、[P.65-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の情報

詳細については、[P.53-8 の「関連項目」](#) を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する場合の BAT の設定

P.53-6 の「BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新」と表 53-2 を併せて参照してください。関連する手順については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

表 53-2 CSV ファイルを挿入する場合の BAT の設定

BAT の設定	説明
[ファイル名 (File Name)]	ドロップダウン リスト ボックスから、挿入するコール ピックアップ ファイルを選択します。
[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)]	<p>このチェックボックスは、既存の設定のピックアップ グループを更新する場合に適用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、挿入するファイルに含まれている情報が [Other Pickup Group Name-Member] に上書きされます。このチェックボックスをオンにしないと、該当するその他のピックアップグループ名がすでに存在することを示すエラーが、ログ ファイルに書き込まれ更新されません。</p> <p> (注) ピックアップ グループごとに、[Pickup Group Number] と [Partition] の組み合わせが固有であることを確認します。</p> <p> (注) ピックアップ グループを更新する際、[Pickup Group Number] と [Partition] の値は無視され、既存の [Other Pickup Groups] は関連付けを解除されます。</p>

その他の情報

詳細については、P.53-8 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [BAT の重要な考慮事項 \(P.53-2\)](#)
- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.53-3\)](#)
- [テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成 \(P.53-4\)](#)
- [既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集 \(P.53-4\)](#)
- [コール ピックアップ グループの削除 \(P.54-1\)](#)
- [コール ピックアップ グループ CSV ファイルの設定値 \(P.53-5\)](#)
- [BAT を使用した Cisco Unified Communications Manager データベースの更新 \(P.53-6\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する場合の BAT の設定 \(P.53-7\)](#)
- [コール ピックアップ グループ用のテキストベース CSV ファイルの作成 \(P.A-24\)](#)